

# 2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	山路 麻佳	職名	特任講師	学位	修士(教育学)(福岡教育大学 2013年)
----	-------	----	------	----	-----------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
ピアノ演奏学	ピアノ演奏表現、音楽科教育、保育者養成ピアノ教育 幼児の音楽表現、器楽アンサンブル(合奏)

研 究 課 題
<p>保育者養成のためのピアノ教育における指導法について、童謡の弾き歌いにおけるピアノ伴奏を中心にして考察する。また、保育者養成のためのピアノ教育が幼児の音楽表現にどのように関わっていくのか、ピアノ演奏表現も関連させながら考察する。</p> <p>幼児の音楽表現に関して、器楽アンサンブル(合奏)を中心にして考察する。</p> <p>ピアノ演奏表現について、ピアノ作品の作曲家や時代背景を中心にして演奏解釈を考察し表現を深める。</p>

担 当 授 業 科 目
<p>こどものためのピアノⅠ(前期)</p> <p>こどものうたと伴奏法Ⅰ(前期)</p> <p>音楽の基礎(前期)</p> <p>こどものためのピアノⅡ(後期)</p> <p>こどものうたと伴奏法Ⅱ(後期)</p> <p>器楽アンサンブル(後期)</p> <p>こども音楽療育実習(後期)</p> <p>保育総合表現(後期)</p>

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p><b>授業科目名【こどものためのピアノ】</b></p> <p>ピアノの基礎的な演奏技能を学んでいく上で、学生に応じた進捗で技術を向上していけるよう複数教員のもと個人レッスン形式で進めた。正しい奏法(姿勢、手のフォーム、ポジション、リズム、運指等)をより正確に伝えるため、模範演奏を示しながら授業を進めた。また、レコーダー等の視聴覚機器を利用することにより学生が自ら演奏の振り返りをして課題が見つかりやすくなり、教育・保育現場で活かせる演奏技術の習得に効果的であった。</p>
<p><b>授業科目名【こどものためのピアノⅡ】</b></p> <p>担当教員のもと個別レッスンを進める中で、学生を1回ずつ科目担当者のレッスンを受けるように回していく「ローテーション」という方法を導入した。これにより学生の気が引き締まり、その機会を各々の目標達成時期の目安として計画的に課題に取り組むことができた。また発表の場を設けることで実践を意識してピアノに取り組めるよう工夫した。</p>
<p><b>授業科目名【こどもの歌と伴奏法Ⅰ】</b></p> <p>2年次になり実習や就職試験など授業外でピアノが課せられることが増え、学生がより実践の場で力を発揮していくことができるよう、課題とは別に実習先や就職試験で求められる曲の指導もしていくよう努めた。</p>
<p><b>授業科目名【こどもの歌と伴奏法Ⅱ】</b></p> <p>これまでに習得したピアノ技術をもとに、学生の習得状況に応じた課題を準備し、それぞれが社会に出てから必要な力を身につけられるよう配慮した。また、演奏技術に不安がある学生に対して、簡易伴奏譜を作成し、その方法についても学生に教授することで、より現場での実践で演奏技術が活かしていけるよう工夫した。</p>

<p>授業科目名【音楽の基礎】</p> <p>座学で学んだ内容を実技の実践へ繋げていくためにより理解が深められるよう、オリジナルの鍵盤プリントを用意した。また、復習プリントや小テストを重ね、机間指導を適宜行いながら進めることで学生による質問を受ける機会を設け、全体の状況を把握できるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【器楽アンサンブル】</p> <p>初回授業にボディパーカッションを導入することで、自分自身の体でリズムを表現し、苦手意識のある学生にも楽しく自然とリズム感覚が身につくよう配慮した。</p> <p>また、履修者が少人数だったため、学生が全ての楽器や指揮を体験でき、保育現場で正しく楽器を扱っていけるようグループづくりを工夫した。</p>
<p>授業科目名【こども音楽療育実習】</p> <p>保育所や特別支援での音楽会のプログラムを創作していくにあたり、施設ごとにリーダーをたてることで、学生たちが主体的に考え協力し工夫ができるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【保育総合表現】</p> <p>こどものためのミュージカルを学生主体で作り上げていくにあたって、音楽面で作品にふさわしい選曲や効果音の提案をし、作品を表現していく上での音楽の重要さが伝わるよう工夫した。また、演奏において楽器の編成をこどもの興味をひく楽器だけでなく、身近な楽器も取り入れるよう指導することで今後の保育現場での劇や音楽会等の活動での指導に活かしていけるよう配慮した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会		2018年10月～現在に至る

2 0 1 8 年 度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州音楽協会 福岡青年音楽家協会 むなかた第九コンサート	協会員 協会員 伴奏ピアニスト	2015 年 4 月～現在に至る 2016 年 4 月～現在に至る 2016 年 4 月～現在に至る
「オーストリア菓子サイラー コンサート」出演	ピアニスト	2018 年 6 月 13 日
「九州山口ジュニアピアノコンクール」審査員	審査員	2018 年 8 月 2 日
「NHK 全国学校音楽コンクール 県大会」出演	伴奏ピアニスト	2018 年 8 月 8 日
「NHK 全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロック大会」出演	伴奏ピアニスト	2018 年 8 月 22 日
「北九州音楽協会会員による CONCERT 響」出演	ピアニスト	2018 年 9 月 9 日
「宗像ミアーレ音楽祭 2019」出演	伴奏ピアニスト	2018 年 9 月 30 日
「グランドピアノフェア 注目ピアニストによるミニコンサート」出演	ピアニスト	2018 年 10 月 27 日
「第九コンサートむなかた 2018」出演	伴奏ピアニスト	2018 年 12 月 22 日
「東京インテリア家具 カフェテリアコンサート」出演	ピアニスト	2019 年 3 月 10 日
「第 1 回 バイオリン発表会」出演	伴奏ピアニスト	2019 年 3 月 17 日

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）	
チャペルアワー 奏楽	2018 年 4 月～現在に至る
シニアサマーカレッジ 「音楽の力で心と身体を健康に ～歌で楽しく認知症予防～」	2018 年 9 月 14 日
クリスマス礼拝 奏楽	2018 年 12 月 13 日
ハンドベル定期演奏会 オルガニスト	2018 年 12 月 15 日

